

全国へばの巣コンテスト 守り育てる地域の味



取り出した巣の中の様子

昨年グランドチャンピオンに輝いた巣の外観(巣の重量5,510g)

案内図



「へば」は、全長1センチほどのクロスズメバチというハチの一種で、夏から秋にかけて土の中に巣を作ります。その巣の中にあるハチの子(幼虫やさなぎ)が山里の貴重なタンパク源として食用されており、とても珍味。串原地域では、「くしはらへば愛好会」が結成され、巣を採るだけでなく、親子を育て、保護活動にも取り組んでおり、へばを巣箱で飼うことも周辺地域で流行となっています。

コンテストは、くしはらふるさと祭のメインイベントとして、飼い巣の部、天然巣の部に分かれてその巣の重量を競います。祭りでは、へば五平もちや地域の特産品も味わうことができます。

とき 平成18年11月3日(金)午前10時から

ところ サンホールくしはら前

問い合わせ 串原振興事務所 52 2111